



月刊「にしのはし」59号 (令和4年5月号)

つつじの花の色が目にも染みる清々しい季節から、若葉の緑は少しずつ濃くなり、まぶしい陽ざしに汗ばむ日々となりました。

さて、ゴールデンウィークを区切りに進級後の学校生活にも少しずつ慣れてくるこの時期は、学校を中心とした生活リズム

が定着するよう、支援目標に沿った支援を着実に実施し、それぞれが楽しくおだやかに過ごして頂くことで、楽しい夏休みを迎えて欲しいと考えています。

4月のれいんぼーでは、新たに利用を開始された方には、初回利用から職員全



員が関わることで理解を深め、保護者さまとも都度確認や報告を行うことで、適切な支援ができるよう取り組みました。

また、新年度の区切りで活動プログラムを一新しました。毎月のお誕生日会は、子ども達からの意見や感想を取り入れ、ひとりひとりがより楽しめるような内容になるよう工夫しました。



ドラムは自由あそびで個別に楽しむ時間を多く取り、月一回のレッスンでは、より理解しやすい視覚的な教材を用意しました。さらにコミュニケーションや集団活動、身体強化の課題により多く取り組めるよう、運動プログラムやゲーム大会を増やしました。さらに、職員2名が新たに強度行動障害支援者研修を受講し、特性に合った支援や具体的な方法についての学びを深めました。今号では4月の活動の様子を振り返ります。どうぞお楽しみください。

4月のお誕生日会



4月25日(月)に、4月生まれの子5人のお誕生日会を開催しました。

新年度に合わせてお誕生日会をリニューアルし、職員が会を仕切る時間を減らして、参加者それぞれの主体性や希望をなるべく反映できる形に変更しました。誕生日のおやつは、事前にメニューから好きなものを選べるように

し、ゲームは自由参加にして、自分で活動を選択できるようにしました。また、参加者が主役や司会に近い場所に着席できるようにし、会に参加しやすくなるよう配慮しました。自分が選んだおやつを食べながら、お互いに親指を立てて「いいね」のポーズをし合ったり、おやつ後はビニールプールにクリップをつけた紙の魚をたくさん入れ、糸の先に磁石をつけた釣り竿で釣り上げる魚釣りゲームをして盛り上がりました。また、ゲームには参加せず宿題をする子

や、プラレールで遊ぶ子など、それぞれがしたい活動を自分で選んで過ごしました。

終わりの会で主役の子がひとことずつ挨拶し、参加した子も、「おやつが美味しかった」「自由時間があってよかった」と感想を話してくれました。





4月の活動プログラムより

4月の**工作プログラム**は、くるくるレインボーを作りました。色とりどりの16枚のオーロラテープを放射状に貼り、提灯のような形になるように反対側の端を貼り合わせて竹ひごに通し、上部は好きな色のビーズで留めて固定しました。ボンドが乾いてからくるくると回すと、テープが広がったりすぼんだり、キラキラ光を反射しました。指先をしっかり使ってテープを何枚も貼るのは根気のいる作業ですが、頑張ったかいがあって綺麗な作品ができました。**料理プログラム**は、バナナやチョコレート、ナッツをたっぷり混ぜ込んだ、カップ蒸しパンを作りました。生地が膨らむので、カップの半分まで入れることを学んだり、好きな具材の組み合わせや分量を考えて、楽しく調理し、熱々をおいしく頂きました。

英語プログラムは、止まる、歩くなどの英単語の絵カードの前に Don't という絵カードを置き、「～しない」という意味になる否定命令文を知り、身体を動かしながら体験しました。

音楽プログラムは、お手本のリズムを覚えてまねをするまねっこリズムに挑戦しました。交代でお手本を見せる役をし、だんだん振りをつけたり、ダンスをして盛り上がりました。

ドラムレッスンでは、電子ドラムのパッドに異なる色の枠をつけ、パッドの色と対応する表示に沿って順番に叩くことで、8ビートが叩ける体験をしました。

運動プログラム・ゲーム大会では、くもの巣くぐりやフラフープくぐりなど、ボディイメージを意識する運動や、風船バレーや座りフリスビーなどの集団で協力するゲーム、またしんぶん島やクッション・オン・ザ・ヘッドなど、体幹でバランスを取る活動や、一本ボウリングやぺったんダーツなど、ワクワク感のあるゲーム性の高い遊びを楽しみました。**自由あそび**では、新しいおもちゃを使ったごっこ遊びや粘土遊び、手押し車などの運動遊び、レシピカードやかるた、将棋やチェスなど、多彩な遊びをたくさん楽しみました。

